

経営比較分析表（令和6年度決算）

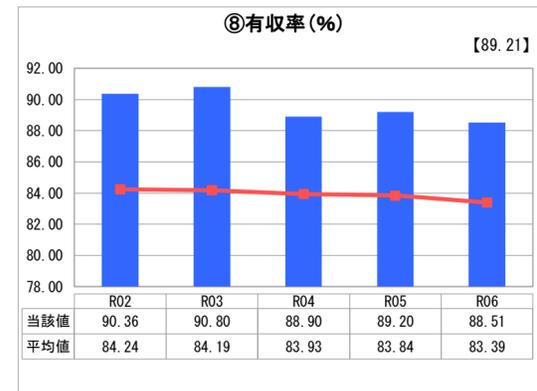
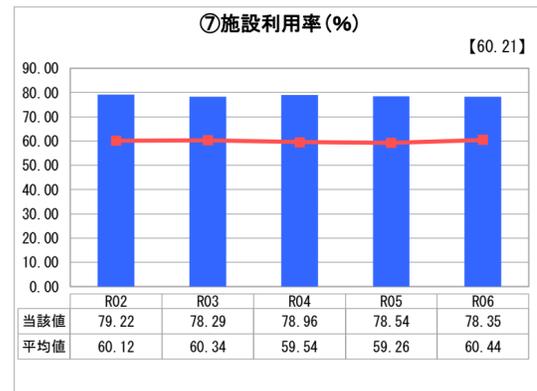
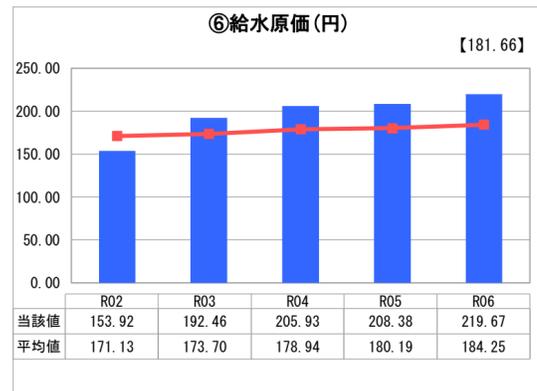
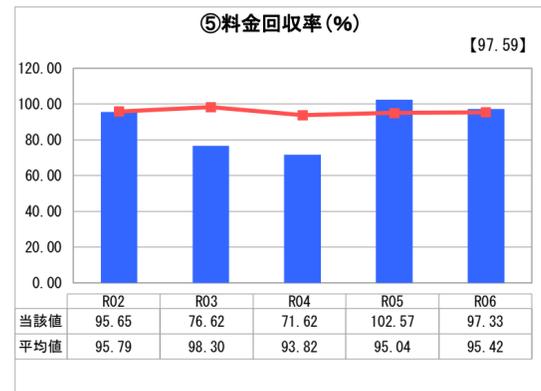
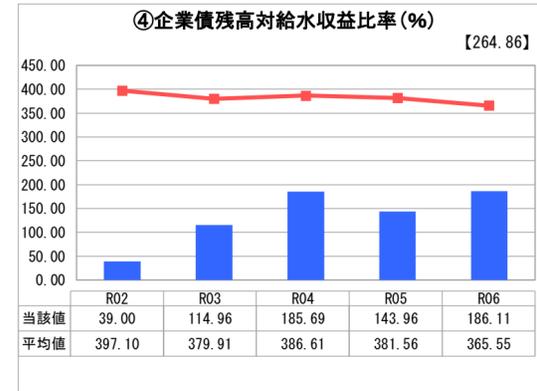
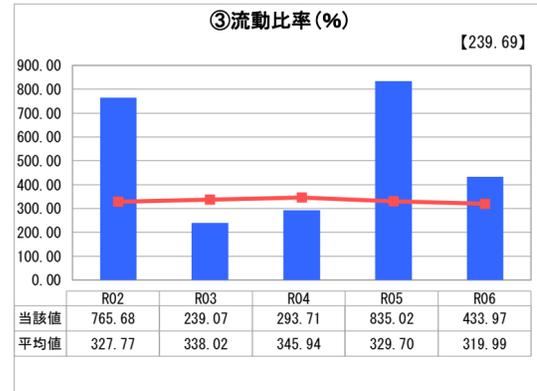
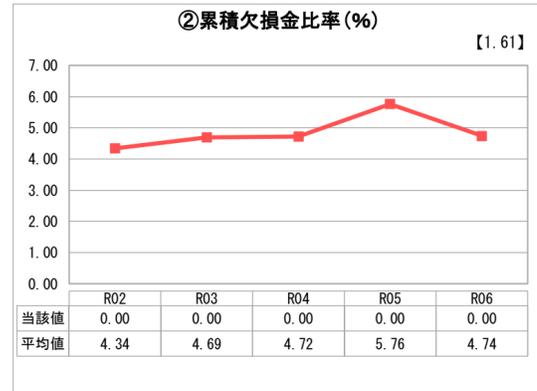
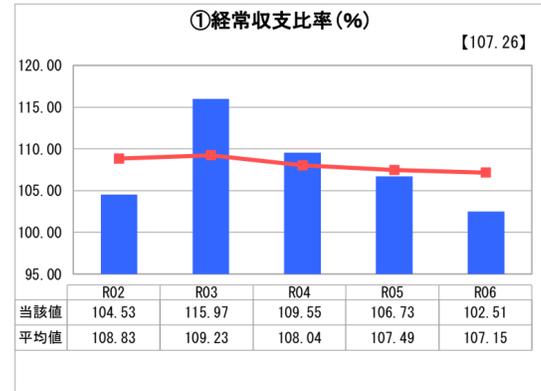
兵庫県 加東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.81	99.01	3,729	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,413	157.55	250.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
38,801	97.11	399.56

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、統合浄水場整備事業の進捗に伴う資産減耗費の増加により低下したものの、100%を上回っており、給水収益等で維持管理費や支払利息等の費用を賄えていることから、収支は健全な水準にある。

② 流動比率は、一般的な適正比率200%以上を維持しており、現金収支における資金の安全性を保つことができています。

③ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値と比べて低いが、浄水場統合整備等のため令和2年度から増加傾向にある。今後も更新需要の増大に対応するため企業債を活用するが、投資財政計画や経営指標等を踏まえて適切な規模で借入を行う。

④ 料金回収率は、建設改良事業の進捗に伴う資産減耗費の増加により、100%を下回った。

※令和2年度から令和4年度までは、各年度6か月間の水道料金減免を実施

⑤ 給水原価は、建設改良事業の進捗に伴う資産減耗費・減価償却費の増加により、令和3年度以降、類似団体平均値より高くなっている。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均値より高く、効率的な利用ができています。一定の余裕を残し、安定した推移となっている。

⑦ 有収率は、類似団体平均値より高く、比較的効率のよい給水ができていますが、類似団体平均値と同様に低下傾向にある。

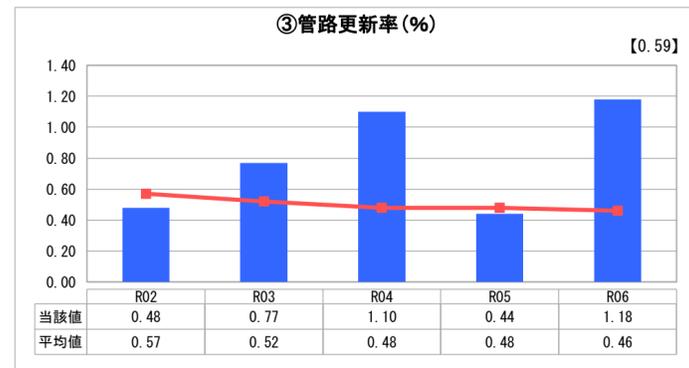
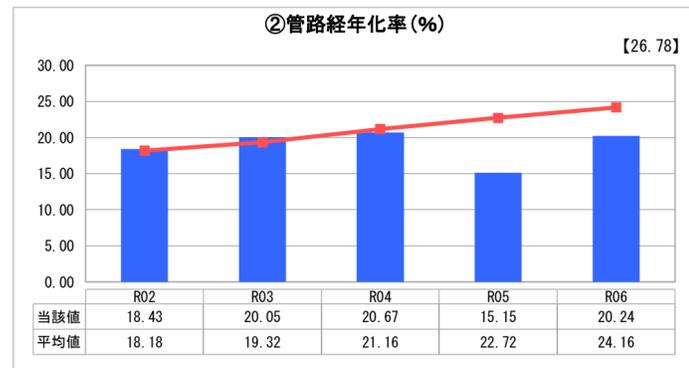
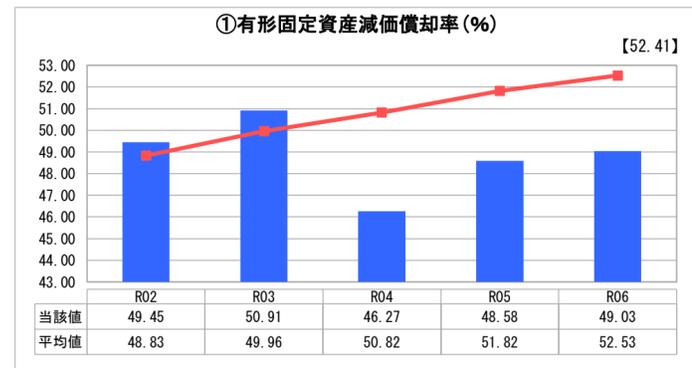
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、前年度比0.45ポイント上昇したものの、統合浄水場整備に伴う施設の更新により令和4年度に大きく低下していたため、類似団体平均値に比べて低い値となっている。

② 管路経年化率は、アセットマネジメント計画における資産整理による管路延長等の見直しや老朽管の布設替えにより、類似団体平均値より低い値となっている。

③ 管路更新率は、工程により更新延長に波があるが、5年平均では0.79%であり、類似団体平均値の5年平均0.50%を上回っている。管路の更新は、大口径の基幹管路を優先し、重要度を判断しながら計画的に更新を進めている。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化に伴う更新需要の増大や将来の人口減少予測による料金収入の減少が見込まれるため、定期的に適切な料金体系を検討し、収益確保の方策を立てるとともに、アセットマネジメントに基づき投資費用を平準化することにより、安定した経営を維持する。

引き続き当市水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標である「安全」「強靱」「持続」の達成に向けて、中長期的な視線に立ち、効率的かつ効果的に事業を管理運営する。